



Tramontane®



Tramontane®

アコースティック・ギター保管上の注意

お客様各位

この度は LAG アコースティック・ギターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
アコースティック・ギターは湿度に対して非常にデリケートな楽器です。お買い求めいただきました楽器を長く、快適にご使用いただくために、下記をお読みになりコンディションに注意してご使用ください。

・湿気について

ソリッド・ウッド（単版 / T70, T80, T100, T200, T270, T300, T400 のトップ材）のアコースティック・ギターは環境の変化にとっても敏感に反応します。ギターの状態を良く保つためにはコンディションに注意する必要があります。極端な温度や湿気の変化が、トップ、バック、サイドに亀裂を生じさせるなど、音が劣化する原因にもつながります。

・湿気が少なすぎると

乾いた環境においては、木の垂直部が収縮してお互いが引っ張られます。この影響で弦がフレットに近すぎてビビリが生じる、木が縮む、フレットが突き出す、フィンガー・ボードが割れる、といった症状が起こります。

・湿気が多すぎると

湿気が多い環境においては、木が膨張してお互いを押し合います。この影響で弦高が上がる、トップが膨らむ、ジョイント部がもろくなる、フィニッシュ（塗装）がくすむ、といった症状が起こります。

保管について

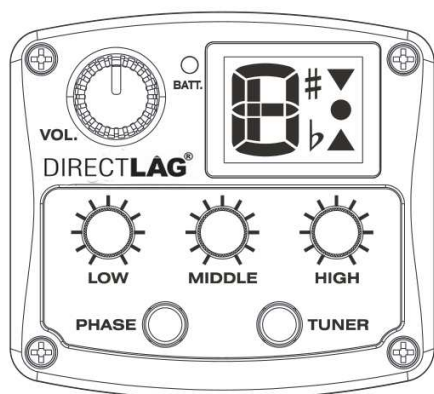
- ギターは湿度 44 ～ 60 パーセントの環境で保管してください。また、極端に冷える場所や、ヒーター等の暖房器具の側では保管しないでください。
- 温かい室温から冷たい外気（又はその逆）等、温度差の変化がある環境下では、ケースを閉じたまましばらく温度差に慣らしてください。
- 湿度計を使い、湿度管理を行うことをお奨めします。湿度計は楽器店でお買い求めいただけます。
- ギターを使用しない時は、付属のケースで保管してください。
- いつでもギターを適切な湿度にて保管してください。そして乾燥のサイン（トップの縮み、弦がフレットに近すぎるために起こるビビリ）が出たら、湿度コントロール用のケア製品でギターに湿気を与えてください。
- 湿度コントロール用のケア製品は楽器店でお買い求めいただけます。（夏場はエアコンなどにより、また冬場は特に乾燥しやすいので特に注意をしてください。）
- もしも湿気のサインが出たら（トップの膨らみ、高すぎる弦高など）湿度コントロール用のケア製品の使用を止めてください。
- 湿気のバランスをとるために、付属のケースの中にシリカゲル（乾燥剤）を入れて置くことをお奨めします。これは楽器店にて購入できます。（乾燥材は使用期限があります。メーカーの指示に従ってください）
- ギターを持ってツアーや旅行に行く時は、その気候に合わせる十分な時間が必要になってきます。例えばツアー中に低温にさらされる場合には、極端なダメージを防ぐために時間をかけて温度に慣らすことが必要になってきます。

お客様相談窓口：TEL 0570 (666) 569

サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1丁目15-10 柏木ビル

輸入販売元：株式会社コルグ KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

GT-2 Acoustic Guitar Preamp (T70)



1. 楽器用ケーブルを接続すると、電源が自動的にオンになります。ケーブルを取り外すと、電源が自動的にオフになります。
2. GT-2は3バンドEQ(イコライザー)を内蔵しています。**LOW**、**MIDDLE**、**HIGH**の各トーン・ノブで低音域、中音域、高音域のレベルをそれぞれ調節できます。VOL.ノブで音量を調節します。
3. **PHASE**ボタンで位相の正逆を切り替えます。
4. **TUNER**ボタンを押すとチューナー機能がオンになります。チューナー機能がオンの場合、プリアンプからの出力はミュートされます(無音になります)。
5. チューナー機能をオンにし、いずれかの弦を開放弦で弾くと、その音程がディスプレイに表示されます。

シャープ



フラット



ジャスト



6. バッテリーが消耗すると**BATT.**ライトが点灯します。早めに新しいバッテリーに交換してください。



Direct Lag HD ユーザー・マニュアル (T80, T88, T90, T98)

- ①. **電池**: 本機はボタン電池(CR2032×2個)で動作します。電池の交換は、パネル面を取り外してバッテリー・ホルダーを引き出します。電池は+極の面をポリウム・スライダー(パネル面)に向けて入れます。電池の消耗時には**LOW.BAT** LEDが点灯します。
- ②. **VOLUMEスライダー**: スライダーを+(プラス)方向に動かすと音量が上がります、-(マイナス)方向に動かすと音量が下がります。
- ③. **BASSノブ**: 低音のトーン・コントロールです。時計回り(右)へ回すと低音が強調されます。
- ④. **TREBLEノブ**: 高音のトーン・コントロールです。時計回り(右)へ回すと高音が強調されます。
- ⑤. **MIDノブ**: 中音域のトーン・コントロールです。時計回り(右)へ回すと中音域が強調されます。
- ⑥. **PHASEスイッチ**: 位相を反転させたい時に使用し、主にフィードバック(ハウリング)を解消する際に使用します。どちらの状態でも音質は変化しません。
- ⑦. **TUNER On/Offスイッチ**: スイッチを押すとチューナーが起動します。チューナー使用時は音が出なくなります(ミュート)。
- ⑧. **ディスプレイ**: チューナー使用時にチューニングしている弦(音名)を表示します。左にある3つのLEDのうち、**HI**(赤)が点灯している場合はチューニングを下げます。**LO**(赤)が点灯している場合はチューニングを上げます。**TUNE**(緑)が点灯するとジャスト・チューニングになります。

ギターからアンプなどへの接続は、エンドピンのジャックに楽器用ケーブル(シールド)を接続します。ケーブルを接続するとプリアンプの電源がオンになります。電池の消耗を防ぐため、使用しない場合はケーブルを取り外してください。

Studio Lag HD ユーザー・マニュアル (T100, T118)



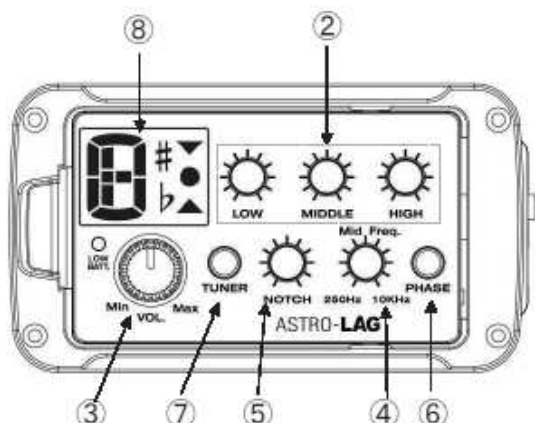
- ①. **電池**：本機は単四電池×2本で動作します。電池の交換は、パネル面を取り外してバッテリー・ホルダーを引き出します。電池は+極の面をボリューム・スライダー(パネル面)に向けて入れます。電池の消耗時には**LOW.BAT** LEDが点灯します。
- ②. **VOLUMEスライダー**：スライダーを+(プラス)方向に動かすと音量が上がリ、-(マイナス)方向に動かすと音量が下がります。
- ③. **BASSノブ**：低音のトーン・コントロールです。時計回り(右)へ回すと低音が強調されます。
- ④. **TREBLEノブ**：高音のトーン・コントロールです。時計回り(右)へ回すと高音が強調されます。
- ⑤. **MIDノブ**：中音域のトーン・コントロールです。時計回り(右)へ回すと中音域が強調されます。
- ⑥. **SOUNDS/MUTEスイッチ**：サウンド・キャラクター切り替えとミュートのオン/オフを操作します。楽器用ケーブル(シールド)をエンドピンのジャックに接続すると、スイッチの上にあるLEDが青く点灯します(リニア・セッティング)。この状態からスイッチを押すと、LEDの点灯色が緑に変わり、アコースティック・クリーン・セッティングに切り替わります。もう一度スイッチを押すとLEDの点灯色がパープルに変わり、ロック・セッティングに音色が変わります。さらにもう一度スイッチを押すと、LEDの点灯色が赤になり、ジャズ・セッティングに切り替わります。このスイッチを約2秒長押しすると、ジャックから音が出なくなります(ミュート)。もう一度スイッチを短く押すとミュートが解除されます。

- ⑦. **SOUNDS/MUTE LED**：サウンド・セッティングやミュートをそれぞれの点灯色で表示します(ミュート時の点灯色：黄色)。
- ⑧. **PHASE/TUNERスイッチ**：スイッチを短く押すと位相が反転します。フィードバック(ハウリング)を解消する際に使用します。このスイッチを約2秒長押しすると、チューナー機能がオンになります。
- ⑨. **ディスプレイ**：チューナー使用時にチューニングしている弦(音名)を表示します。左にある3つのLEDのうち、**HI**(赤)が点灯している場合はチューニングを下げます。**LO**(赤)が点灯している場合はチューニングを上げます。**TUNE**(緑)が点灯するとジャスト・チューニングになります。

ギターからアンプなどへの接続は、エンドピンのジャックに楽器用ケーブル(シールド)を接続します。ケーブルを接続するとプリアンプの電源がオンになります。電池の消耗を防ぐため、使用しない場合はケーブルを取り外してください。

ASTRO-LAG

Accoustic Guitar Preamp



- ① 電池：本機は9V電池で動作します。電池の交換は、パネル面を取り外してバッテリーホルダーを引き出します。電池の消耗時にはLOW BAT LEDが点灯します。
- ② LOW / MIDDLE / HIGHノブ：低音、中音、高音のトーンコントロールです。時計回りに回すと各トーンが強調されます。
- ③ 時計回りに回すとギターのパワーが上がり、反時計回りに回すとパワーが下がります。
- ④ Mid Freq.ノブ：つまみを回すと中音域の周波数帯が変更できます。
- ⑤ NOTCHノブ：フィードバック（ハウリング）が起きた時に調整します。
- ⑥ PHASEスイッチ：位相を反転させたい時に使用し、主にフィードバック（ハウリング）を解消する際に使用します。どちらの状態でも音質は変化しません。
- ⑦ TUNER ON / OFFスイッチ：スイッチを押すとチューナーが起動します。起動中はギターのパワーは出なくなります（ミュート）。
- ⑧ チューナー使用時にチューニングしている弦（音名）を表示します。



チューニングが高い



チューニングが低い



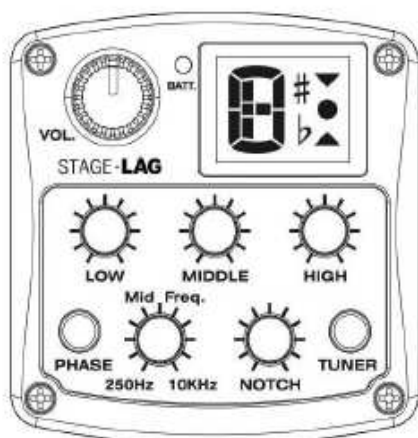
チューニングが合った

ギターからアンプなどへの接続は、エンドピンのジャックに楽器用ケーブル（シールド）を接続します。ケーブルを接続するとプリアンプの電源がオンになります。電池の消耗を防ぐため、使用しない時はケーブルと取り外して下さい。

STAGE-LAG

Accoustic Guitar Preamp

STAGE-LAG Acoustic Guitar Preamp



1. 楽器用ケーブルを接続すると、電源が自動的にオンになります。ケーブルを取り外すと、電源が自動的にオフになります。
2. STAGE LAGは3バンドEQ（イコライザー）を内蔵しています。LOW、MIDDLE、HIGHの各トーン・ノブで低音域、中音域、高音域のレベルをそれぞれ調節できます。VOL.ノブで音量を調節します。NOTCHノブでフィードバック（ハウリング）の調整ができます。
3. PHASEボタンで位相の正逆を切り替えます。
4. TUNERボタンを押すとチューナー機能がオンになります。チューナー機能がオンの場合、プリアンプからの出力はミュートされます（無音になります）。
5. チューナー機能をオンにし、いずれかの弦を開放弦で弾くと、その音程がディスプレイに表示されます。

シャープ



フラット



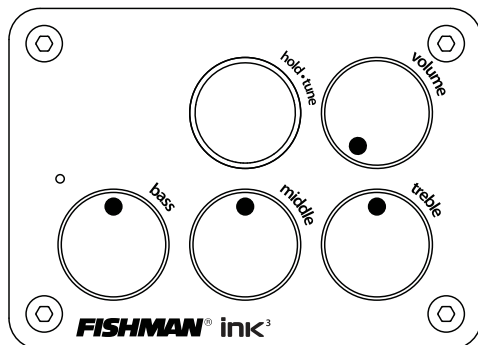
ジャスト



6. バッテリーが消耗するとBATT.ライトが点灯します。早めに新しいバッテリーに交換してください。

INK 3 オンボード・プリアンプ ユーザー・ガイド (T170, T270)

INK 3 クイック・スタート



1. 接続する前に：

volumeノブを完全に絞ってゼロにします。

bass, middle, trebleの各トーン・ノブをセンター・ポジションに合わせます。

2. 接続する：

INK 3をアンプやPAに1/4インチ（6.35mm標準）プラグの楽器用ケーブル（シールド）で接続します。

ケーブルを接続すると、バッテリー・ライト（LED）が瞬間的に点灯し電源が入ったことを表示します。

3. 音作りをする：

適度な音量になるまで**volume**ノブを上げ、**bass, middle, treble**の各トーン・ノブを好みに合わせて調節します。

INK 3のコントロール

volume：

ベストの音質にするため、**volume**ノブは歪みやフィードバック（ハウリング）が起きない範囲で最大にします。

bass：

低音域を調節します。ノブを適度に上げると、深みのある音色や重量感のある音色になります。

middle：

中音域を調節します。絞り切る（左いっぱい）に回すと、大音量時に中音域成分の少ないスムーズな音色になります。

ノブを適度に上げていくと、中音域がふくよかになり、迫力ある音色になります。

treble：

高音域を調節します。ノブを適度に上げていくとヌケの良い、目立つ音色になります。

ノブを下げていくとメロウで甘いトーンの音色になります。

tune：

チューナー・ディスプレイを長押しすると内蔵チューナーが起動し、もう一度押すとチューナー機能がオフになります。

このチューナー機能はクロマティック・チューナーで、すべてのスタンダード・チューニングや変則チューニングに対応し、チューナー起動時はアウトプットからの音がミュートされます（無音になります）。

基準ピッチはA=440Hzで、チューナー機能はケーブルを接続しなくても使用できます。

また、バッテリーの消耗を防ぐため、チューナーの起動後何も操作しない状態が約3分間経過すると、

チューナー機能が自動的にオフになります。

battery(LED)：

LEDが点灯してバッテリーの交換時期をお知らせします。バッテリーの消耗を防ぐため、演奏しない時はケーブルを外し、チューナー機能をオフにしてください。

バッテリーは9V電池で、チューナー機能を使用しない場合、電池寿命は約90時間です。

一部のギターでは内蔵バッテリーが充電式のため、LEDが点灯したらバッテリーを充電してください。

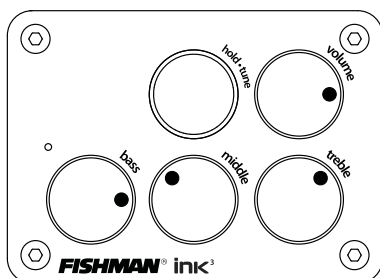
ジャック部にあるマイクロUSBケーブルをDC5V、500mAの電源に接続して充電します。

フル充電になるとLEDが点灯します。

サンプルEQセッティング

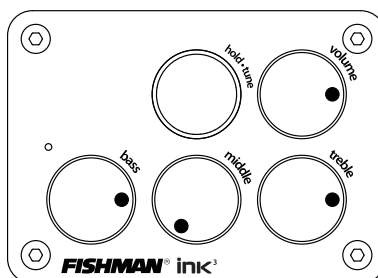
Fingerstyle

低音のふくよかな鳴りと、歯切れの良いトレブルを両立させたトーン。



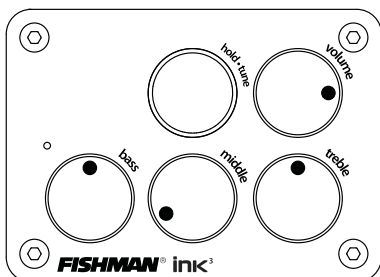
"Scooped" Mid

低音と高音を極端に強調したトーン。



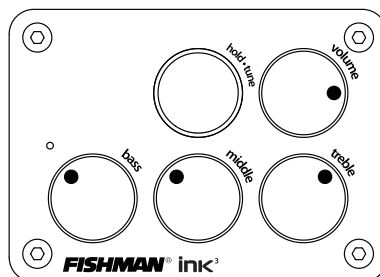
Strummer

コード・ストローク演奏に適したトーンです。

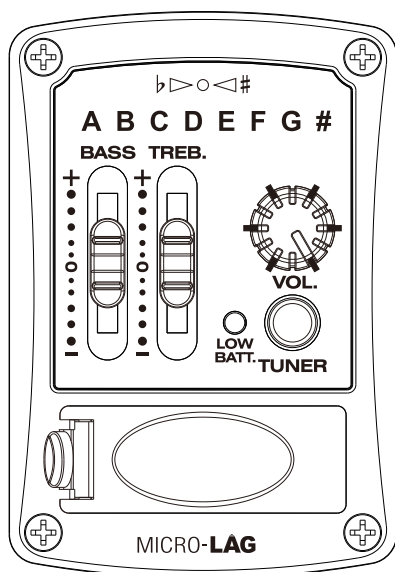


Cut Through the Mix

音量の大きなバンド編成向けのトーン。



MICRO-LAG Acoustic Ukulele Preamp



1. アウトプットジャックにケーブルが接続されると自動的にプリアンプがONになります。
ケーブルが抜かれると自動的にOFFとなります。
2. 電池：ボタン電池（CR2032）を2つ使用します。
3. MICRO-LAGは2バンド・イコライザーが搭載されています。
低域の周波数帯域を調整するにはLOWのスライダー、
広域の周波数帯域を調整するにはTREBを調整します。
ボリュームの調整にはVOLつまみを回します。
4. チューナーボタンを押すとチューナーが起動（または終了）します。アウトプットはミュートされます。
5. チューナーを起動しているときに弦を弾くとチューナーのインジケーターが点灯します。



A# sharp



A# flat



A in tune

6. LOW BATTのLEDが点灯したら電池を交換してください。